

調査結果の詳細は、
町ホームページに公
開しています。

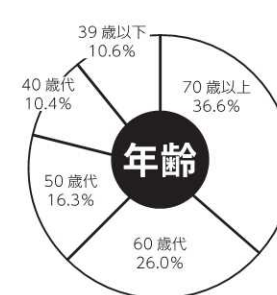
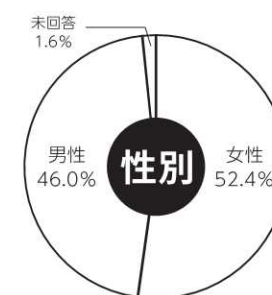


令和9年度から8年間の町政運営の羅針盤となり、10年後のまちの将来像を描く計画づくり「第3次与謝野町総合計画」の策定にあたって、住民の皆さんからの多様なご意見を募集し、計画策定の基礎資料とすることを目的に、無作為に選んだ2,000人の方を対象にアンケートを実施しました。調査結果の主な項目を紹介します。

問 企画財政課 ☎ 43-9015

アンケートの調査概要と回答者内訳

- 調査対象 15歳以上の町民の方から2,000人を無作為に抽出
- 調査方法 郵送による配布および回収（オンライン回答可）
- 期 間 令和7年8月25日（月）～9月5日（金）
- 回答状況 【回答数】645件（うち、インターネット回答79件）
【回答率】32.3%
※ 前回の令和6年度調査 … 【回答数】651件 【回答率】32.6%



与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度

○ 満足・やや満足 BEST 5

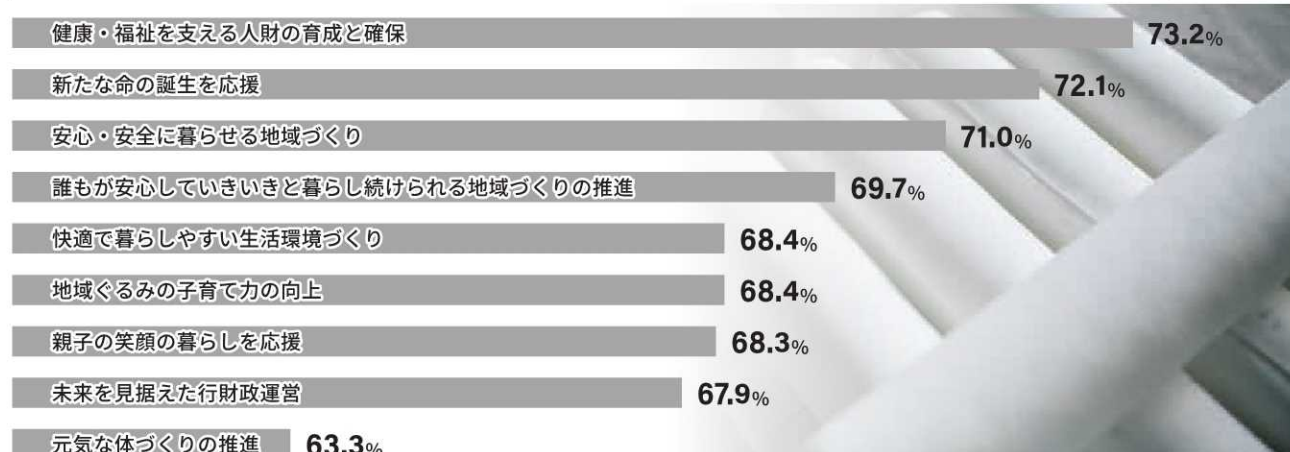


× 不満・やや不満 BEST 5



これから進めるまちづくりにおける重要度

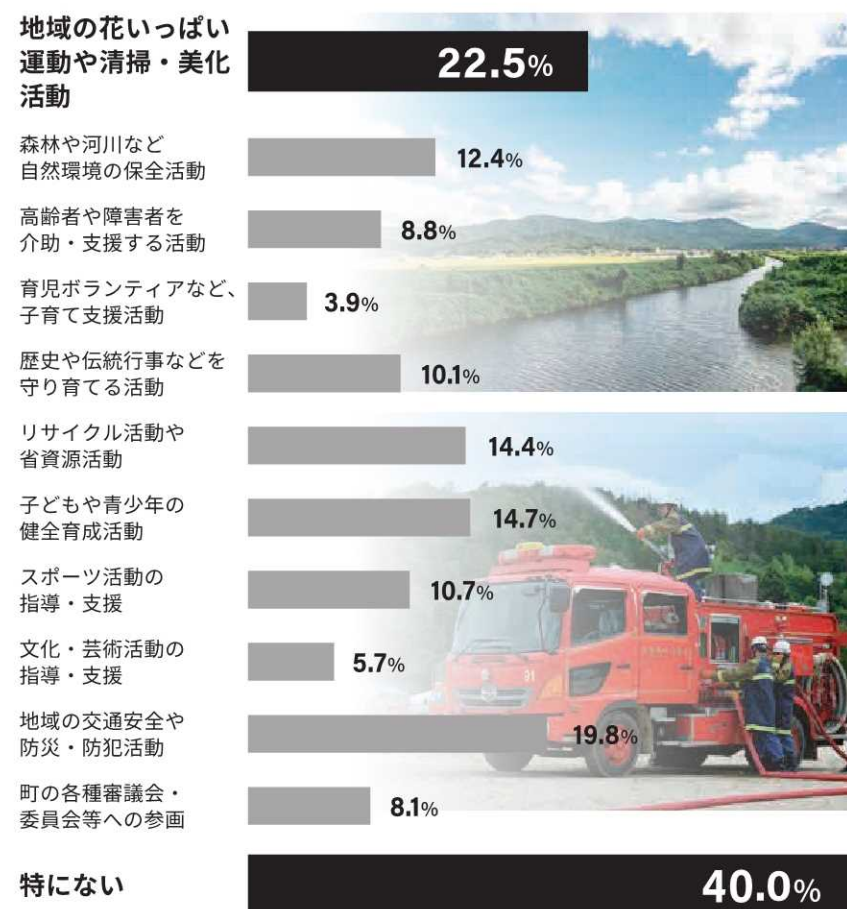
魅力ある働く場の創出 73.6%



▶▶▶ 全世代では「魅力ある働く場の創出」が1位 — 子育て施策の重要度も高い結果に —

これから進めるまちづくりにおける重要度の1位は「魅力ある働く場の創出」で、次いで「健康・福祉を支える人財の育成と確保」となっており、昨年の8位から2位に上がっています。一方、15歳から39歳以下では、「新たな命の誕生を応援」「親子の笑顔の暮らしを応援」「地域ぐるみの子育て力の向上」といった子育てに関する施策が上位3位を占めています。

与謝野町のまちづくりに参加したことがある



参加したことがある活動の中では、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が最も多く22.5%、次いで「地域の交通安全や防災・防犯活動」19.8%、「子どもや青少年の健全育成活動」14.7%となっています。一方で、「特になし」が40.0%と「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」よりも多くなっています。

また、地域のまちづくりに参加しなかった（できなかった）理由としては、「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」が35.7%と最も多くなっており、次いで「まちづくりに興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思いますが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が18.6%となっています。